

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年9月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	関門港湾建設株式会社
所在地	山口県下関市細江新町3番54号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 清原 生郎
担当者連絡先	電話：083-234-3411 (担当：中村善昭) メール：kanmon@kanmon-const.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.kanmon-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は創業104年を迎えた海洋土木の専門業者であり、山口県下関市を拠点に浚渫・埋立・圧送プレミックス・港湾構造物工事を実施している。 大型作業船(グラブ浚渫船、リクレーマ船、プレミックス船、コンクリートミキサー船)を11隻所有し、関門航路整備事業をはじめとする国内外多くの大型海洋プロジェクトに参画。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【現状】 25,000 m ³ (2021年度実績) 【目標】 200,000 m ³
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	1人当たりの月平均時間外労働時間 【現状】 22時間 【目標】 20時間
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・専門家を招いて人権問題について社内講習を毎年実施しており、差別のない体制を構築するために経営陣が積極的に関与している ・山口保護観察所に協力雇用主として登録している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント禁止など就業規則に明記しており、総務部長を相談窓口として体制を整備している ・ハラスメント防止について専門家による講習を実施している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法改正内容を経営陣を含めて共有している ・船員法も含めた対応を行っており、勤怠管理の見直しを行っている								8.5 8.8									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・各部署ごとに上司によるヒアリング調査を適宜実施している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・衛生的な労働環境改善の一環としてレディースパトロールを実施している ・月1回安全衛生委員会を実施し、計画と実施状況の把握をするとともに社内周知を図っている				3				8									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・定期健康診断の際に、全従業員に対してストレスチェックの受診を推奨している				3													
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・シニア層、女性、外国人など積極的に雇用促進を図っている ・女性技術者向け環境整備として更衣室新設など居住空間の整備を実施している ・(女性活躍推進法に基づく)一般事業主行動計画に基づき、女性技術者の雇用を推進している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・従業員の能力開発の為、内外の研修への参加促進、CPD講習会や資格取得などの支援を行っている				4	5.5			8	9								
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・インフルエンザ予防接種の全額会社負担を行っている ・健康診断受診率100%とし、二次健診受診を推奨している				3				8									
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・コンクリートミキサー船のプラントからの洗浄水を分級し、混練水として再利用している										11.6	12.4 12.5		14.1				
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社での電力消費量を把握している ・社内照明を蛍光灯からLEDへ取替え、省エネに努めている							7.3					13					
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・NOx二次規制に対応した船舶設備を整備している ・作業船の屋上緑化にも取り組んでいる							7.2 7.3				12.4	13.3					
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・使用箇所に責任者を配置し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3					11.6	12.4						

(様式第4号)

令和5年10月11日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 山口県下関市細江新町3番54号

名称： 関門港湾建設株式会社

代表者： 代表取締役社長 清原 生郎

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【目標】200,000 m ³	【2022年累計】38,000 m ³
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	1人当たりの月平均時間外労働時間 【目標】20時間	【2022年実績】7.2時間
□環境 □社会 □経済			

(様式第4号)

令和6年10月4日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 山口県下関市細江新町3番54号

名称： 関門港湾建設株式会社

代表者： 代表取締役社長 清原 生郎

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【目標】200,000 m ³	【2023年累計】57,550 m ³
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	1人当たりの月平均時間外労働時間 【目標】20時間	【2023年実績】8.9時間
□環境 □社会 □経済			